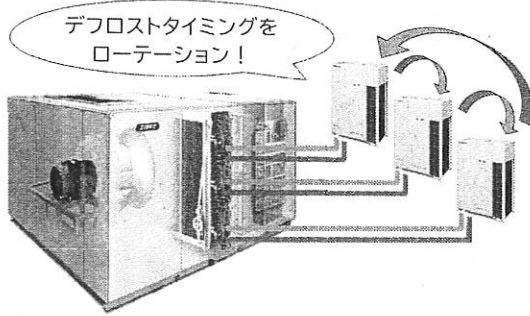


新晃工業（大阪市北区、社長・末永聡氏）はこのほど、ヒートポンプ空調機Ⅱ

「デフロストローテーション機能」搭載

～ヒートポンプ空調機Ⅱシリーズ室外機～

新晃工業がモデルチェンジし発売



デフロストローテーション機能

さらに新モデルは、一ケルシンクでの馬力ラインアップを十八馬力機から二十二馬力機まで

室外機の熱交換効率を向上させたことにより、冷媒封入量を従来機より最大二五%削減を実現したものである。

シリーズの室外機（八馬力機から五十四馬力機、全二十四機種）をモデルチェンジ（新モデルSKXYPIFBシリーズ）した。モデルチェンジに当たっては、デフロスト時の給気温度低下を抑制する「デフロストローテーション機

能」を新たに搭載。冷媒系統が異なる複数の室外機同士がデフロスト（除霜運転）のタイミングをコントロールする。デフロストの重なりを防止することで、給気温度の低下を防止する。また、室外機の冷媒封入量を最大二五%削減している。これは、

拡大している。従来機より設置床面積を最大六%縮小。これにより、複数の室外機を設置する必要がなくなり、配管・配線工事の省施工が図れる。